

# 令和6年度第1回わがまちパートナーアンケート 「富田林市の広聴活動」に関する意識調査報告書

## 1. 「広聴活動」とは

### 目的

「市民とともにつくる、市民が幸せになる、市民本位の市政」の実現に向けて、広聴活動を通して、市民の皆さまからのご意見やご提案などを広く収集し、ふさわしい市政を構築する。

### 主な取り組み

#### ＜a＞市政懇談会～市長と語ろう！わがまち富田林～

市民の皆さまと市長が直接懇談し、市政に関する建設的な意見や提案、アイデアを自由に話し合います。これにより、市民と行政が協働してまちづくりを進めることを目指します。



#### ＜b＞富見箱(とみけんばこ)～市長へのお手紙～

市民の皆さまが普段の生活の中で感じていること、市に取り組んでもらいたいことなど市政に対するご意見・ご提案などを「富見箱(意見箱)」や「ネットでのお問い合わせフォーム」にて受け付けしています。



#### ＜c＞メールや手紙での市政に対する意見・要望・苦情の受付

市民の皆さまより市ウェブサイト内「メールでのお問い合わせ」のほか、手紙・ファクス・電話等を通じて各部局宛てにお寄せいただきました市政へのご意見やご提案などを受け付けています。

#### ＜d＞富田林市わがまちパートナー制度

市政に対する市民の皆さまからの意見を、迅速かつ効果的に把握するとともに、市政への関心を高め、市民参加等を促進することを目的とします。

# 令和6年度第1回わがまちパートナーアンケート 「富田林市の広聴活動」に関する意識調査報告書

## 2. 活動実績

### ＜a＞市長と語ろう

年度	合計
令和2年度	3組
令和3年度	3組
令和4年度	6組
令和5年度	6組

### ＜b＞富見箱

年度	合計
令和2年度	75件
令和3年度	62件
令和4年度	68件
令和5年度	99件

### ＜c＞メール・手紙

年度	合計
令和2年度	1,211件
令和3年度	1,394件
令和4年度	1,042件
令和5年度	1,027件

### 令和5年度の実績について

- ◆ 『＜a＞市長と語ろう』では、「ひまわり」「NPO法人ハッピーまどか」「i-tone”（愛・富・音）」「特定非営利活動法人日本レスキュー協会」「富田林市わがまちパートナー2期」「かがり台地区の住民」の団体にご参加いただきました。
- ◆ 『＜b＞富見箱』や『＜c＞メール・手紙』でのお問い合わせは、「金剛バス廃止への意見・要望」についての内容を多数いただきました。
- ◆ 『＜d＞わがまちパートナー』では、アンケート調査「認知症と伴にあゆむ笑顔のまちについて」を実施。また、希望いただいた方に「市長と語ろう」にご参加いただきました。

# 令和6年度第1回わがまちパートナーアンケート 「富田林市の広聴活動」に関する意識調査報告書

## ▼調査概要

調査対象：わがまちパートナー登録者（全63名）

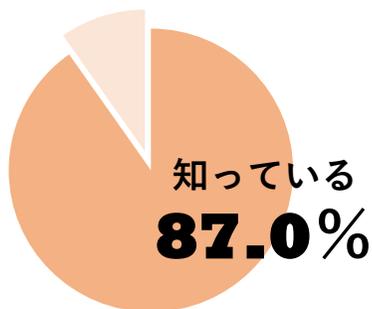
サンプル数：54件（令和6年12月9日現在）

回答率：85.7%

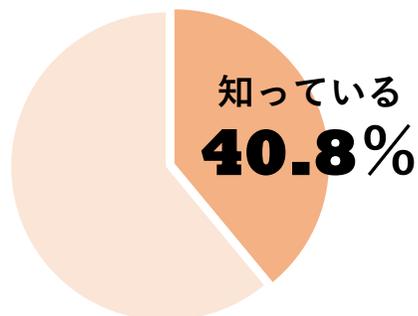
調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

## 3. アンケート結果（認知度）

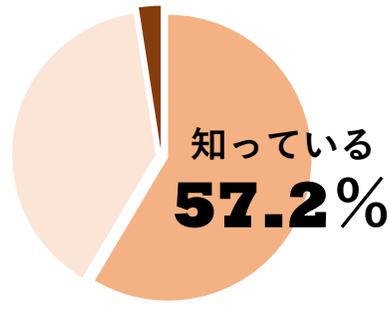
＜a＞市長と語ろう



＜b＞富見箱



＜c＞メール・手紙



■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

- ・市役所の目につくところに広報する。
- ・若い人は目に触れるため、可愛いゆるキャラを推す。
- ・SNSでの情報発信。
- ・よく立ち寄るスーパーなど商業施設での告知や掲示。
- ・町会や自治会の掲示板や回覧板を活用する。
- ・番号待ちの時に掲示板で流す。 など



※「知っている」の割合は、「利用したことがある」「知っているが利用したことがない」という回答を合わせたものです。

認知度については、「市長と語ろう」が一番高く、「メール・手紙」についても50%を超えているものの、「富見箱」が半数以上「知らない」との回答でした。

それぞれ知ったきっかけとして、全項目で「広報誌」が一番多い結果となりました。

# 令和6年度第1回わがまちパートナーアンケート 「富田林市の広聴活動」に関する意識調査報告書

## ▼調査概要

調査対象：わがまちパートナー登録者（全63名）

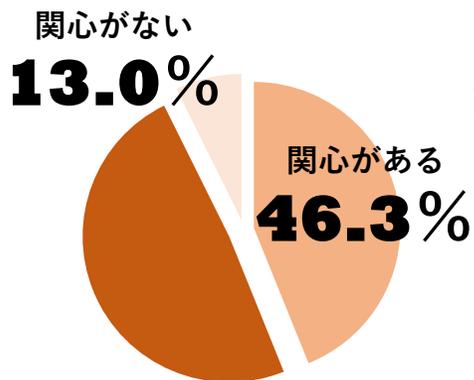
サンプル数：54件（令和6年12月9日現在）

回答率：85.7%

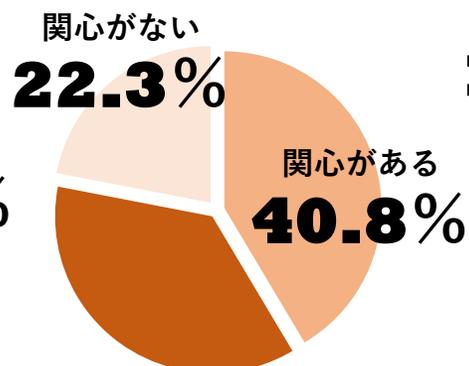
調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

## 3. アンケート結果（**関心度**）

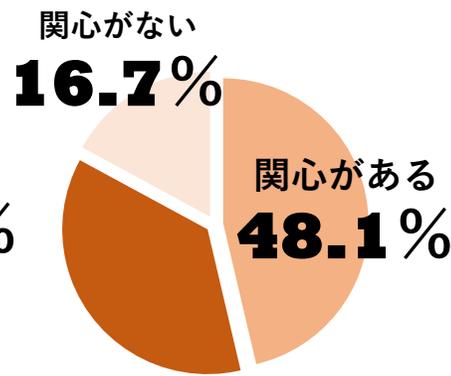
＜a＞市長と語ろう



＜b＞富見箱



＜c＞メール・手紙



■ 関心がある ■ 関心がない ■ どちらとも言えない

- ・市イメージキャラクターを利用して活動をすすめていく。
- ・自分の声が市政に反映したと実感できるように取り組む。
- ・広聴活動を自治会単位と個人単位で分ける。
- ・インスタライブなど若い人の目につく機会を作る。
- ・何かポイントや地域使用限定の商品券を渡す。



※「関心がある」の割合は「非常に関心がある」「関心がある」という回答を、「関心がない」の割合は「全く関心がない」「関心がない」という回答を合わせたものです。

関心度については、いずれの項目も約4割が「**関心がある**」との回答でした。

# 令和6年度第1回わがまちパートナーアンケート 「富田林市の広聴活動」に関する意識調査報告書

## ▼調査概要

調査対象：わがまちパートナー登録者(全63名)

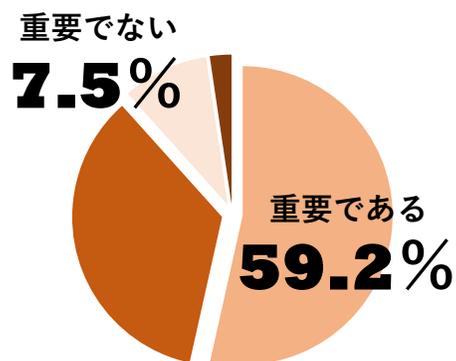
サンプル数：54件(令和6年12月9日現在)

回答率：85.7%

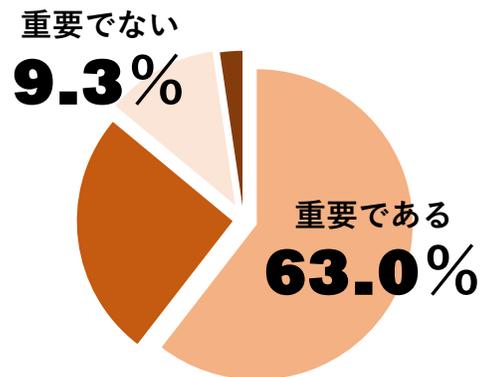
調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

## 3. アンケート結果（重要度）

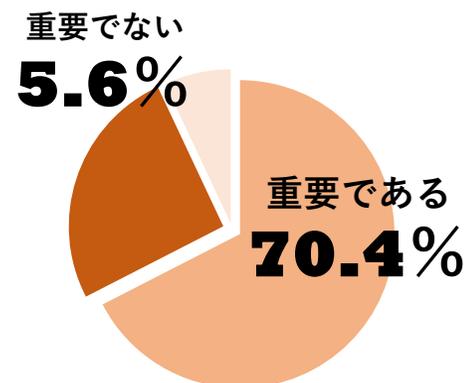
〈a〉市長と語ろう



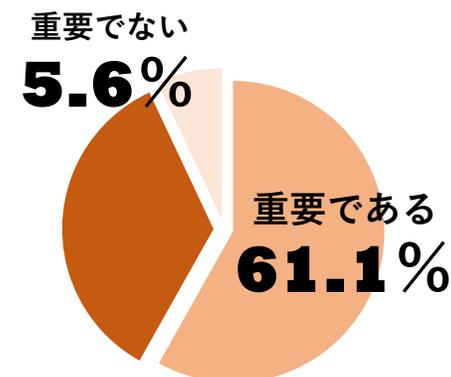
〈b〉富見箱



〈c〉メール・手紙



〈d〉わがまちパートナー



■ 重要である ■ 重要でない ■ どちらとも言えない ■ 無回答

※「重要である」の割合は「非常に重要である」「重要である」という回答を、「重要でない」の割合は「全く重要でない」「重要でない」という回答を合わせたものです。

重要度については、いずれの項目も半数以上が「重要である」との回答でした。

# 令和6年度第1回わがまちパートナーアンケート 「富田林市の広聴活動」に関する意識調査報告書

## ▼調査概要

調査対象：わがまちパートナー登録者(全63名)

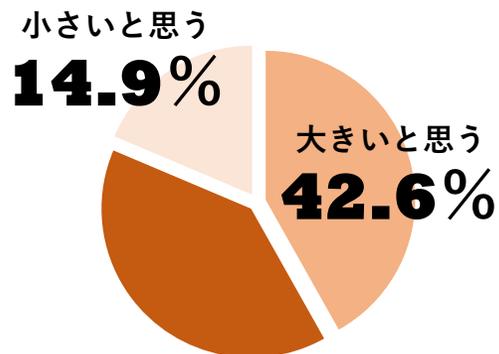
サンプル数：54件(令和6年12月9日現在)

回答率：85.7%

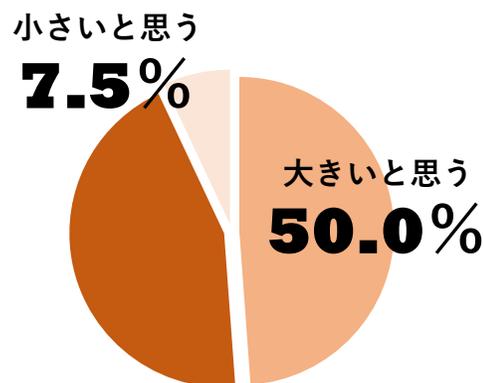
調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

## 3. アンケート結果（影響力）

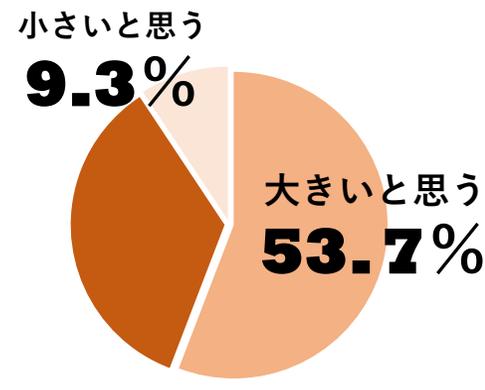
＜a＞市長と語ろう



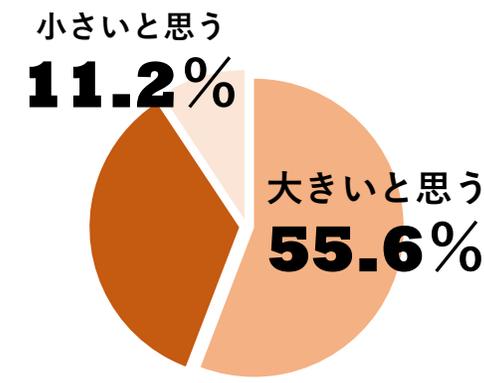
＜b＞富見箱



＜c＞メール・手紙



＜d＞わがまちパートナー



■ 大きいと思う ■ 小さいと思う ■ どちらとも言えない ■ 無回答

※「大きいと思う」の割合は「非常に大きいと思う」「大きいと思う」という回答を、「小さいと思う」の割合は「全くないと思う」「小さいと思う」という回答を合わせたものです。

影響力については、いずれの項目も4割以上が「大きいと思う」との回答でした。

# 令和6年度第1回わがまちパートナーアンケート 「富田林市の広聴活動」に関する意識調査報告書

## ▼調査概要

調査対象：わがまちパートナー登録者(全63名)

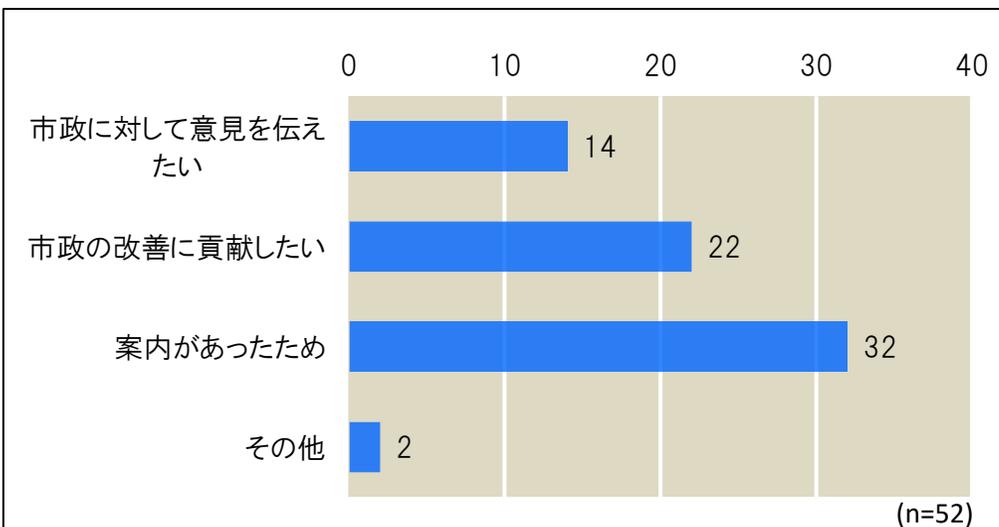
サンプル数：54件(令和6年12月9日現在)

回答率：85.7%

調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

## 4. アンケート結果（わがまちパートナー制度について）

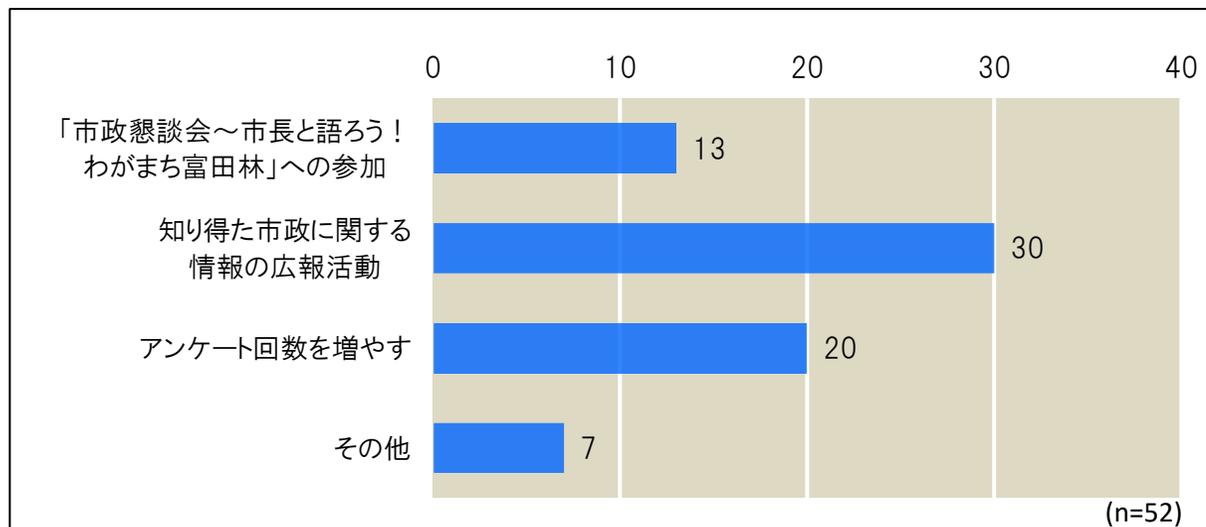
### ①参加動機について



#### 「その他」の主な記載内容

- ① 色々な年代の意見の参考として、参加したいと思った。
- ② 初めは案内があったため参加したが、住んでいくうちに、よりより環境の為、市政改善のための手助けができればよいと思った。

### ②今後新たな取り組みについて



#### 「その他」の主な記載内容

- ① 400名以上の登録者を確保し、新規登録者を総代や副総代に任命する。
  - ② わがまちパートナー間で世代間交流の機会を作る。
  - ③ 同年代同志での市長との座談会を開催する
  - ④ アンケート回答に対してどのような政策への影響があったかを示す。
- など

『①参加動機について』は、「案内があったため」が一番多い回答となりました。

『②今後新たな取り組みについて』は、「知り得た市政に関する情報の広報活動」が一番多い回答となりました。

# 令和6年度第1回わがまちパートナーアンケート 「富田林市の広聴活動」に関する意識調査報告書

## ▼調査概要

調査対象：わがまちパートナー登録者（全63名）

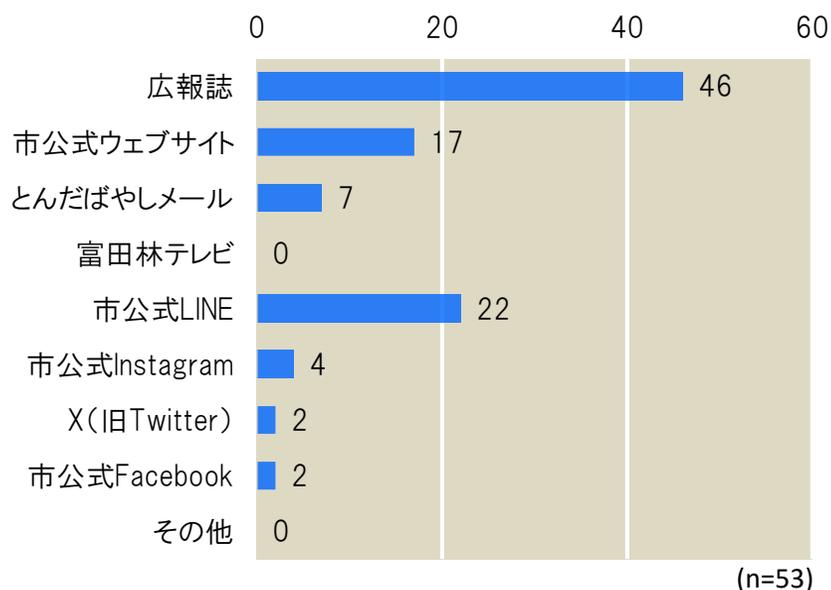
サンプル数：54件（令和6年12月9日現在）

回答率：85.7%

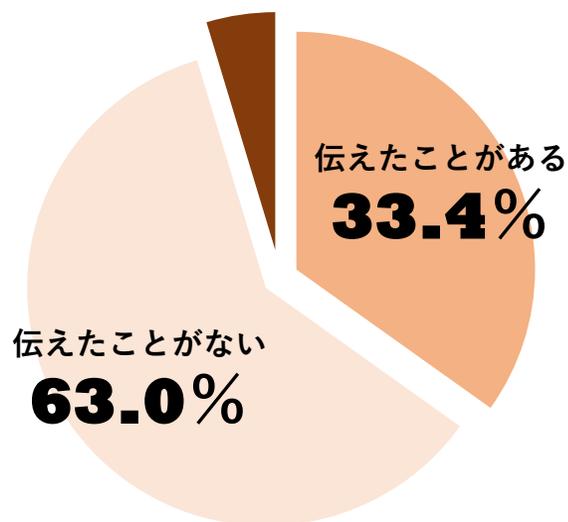
調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

## 4. アンケート結果（わがまちパートナー制度について）

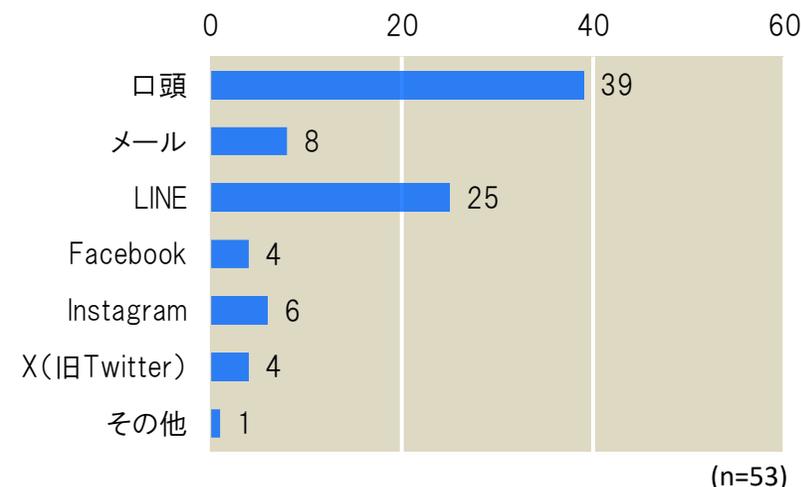
### ③市政の情報収集方法について



### ④市政の情報を他人に伝えたことがあるかについて



### ⑤市政の情報を他人に伝える方法について



「その他」の主な記載内容  
①ポスターの掲示

本質問項目は、市政の情報をわがまちパートナー登録者からも広報してもらうことが有効かどうかを調査したものです。  
『③市政の情報収集方法について』は、「広報誌」「市公式LINE」「市公式ウェブサイト」の順で多い回答となりました。  
『④市政の情報を他人に伝えたことがあるかについて』は、約3割の方が「伝えたことがある」との回答となりました。  
『⑤市政の情報を他人に伝える方法について』は、「口頭」「LINE」「メール」の順で多い回答となりました。

# 令和6年度第1回わがまちパートナーアンケート 「富田林市の広聴活動」に関する意識調査報告書

## ▼調査概要

調査対象：わがまちパートナー登録者(全63名)

サンプル数：54件(令和6年12月9日現在)

回答率：85.7%

調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

## 5. アンケート結果（まとめ）

### 市長と語ろう

認知度は約90%と非常に高く、他の広聴活動に比べても、広く知ってもらえていることが分かる。しかし、一方で応募する団体の減少もあるため、引き続き、広報誌やウェブサイトを通じて、参加団体の募集するのは勿論のこと、多くの団体との交流をしていくためにも、参加の募り方や、テーマを限定してみるなど、より市民の皆さまが参加しやすい方法を検討していく。

### メール・手紙

認知度・重要度・影響力ともに、他の活動と同水準で高い回答となっており、例年1,000件以上のメールや手紙を受け付けている。自由記述欄にて、「自分の声が市政に反映しているか分かるように」との意見が多数あった。現状は、ウェブサイトにて内容と回答の公表を毎月行っているが、市政の情報収集でよく利用されている市公式LINEなども活用し、公表している状況について、より周知していく必要がある。

### 富見箱

認知度が約4割と他の広聴活動と比較しても、非常に低い結果となっている一方で、重要度や影響力は他の広聴活動と同水準で高い結果となっている。このことから、「富見箱」を知ってもらえる取り組みに注力していく必要がある。

### わがまちパートナー

今後の取組として、回答の多い「知り得た市政に関する情報の広報活動」について有効な方法を検討する必要がある。また、「アンケート回数を増やす」との回答も多かったため、アンケートの実施方法などについて見直す必要もある。ただし、サンプル数が63件ということもあるため、年齢層や世帯状況等でターゲットを絞った体験型アンケートの実施など、市政モニター制度として市民アンケートと違った活用方法を検討していく。